

精神疾患専門委員会

(令和3年度)

精神疾患専門委員会報告書

広島県地域保健対策協議会 精神疾患専門委員会

委員長 岡本 泰昌

I. はじめに

精神障害者が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築が必要とされ、そのためには、多様な精神疾患ごとの医療機関の役割を整理し、相互連携を推進する体制整備が求められている。

本委員会では、統合失調症をはじめとする多様な精神疾患ごとの地域連携拠点機能および県連携拠点機能の役割を担う医療機能の明確化について検討を重ね、令和2年度に具体的な体制としてとりまとめ、令和3年3月の第7次広島県保健医療計画の中間見直しで反映された。

本年度は、中間見直し後の精神医療の現状について確認するとともに、依存症や自殺対策等の検討課題について検討・協議を行った。

II. 協議内容

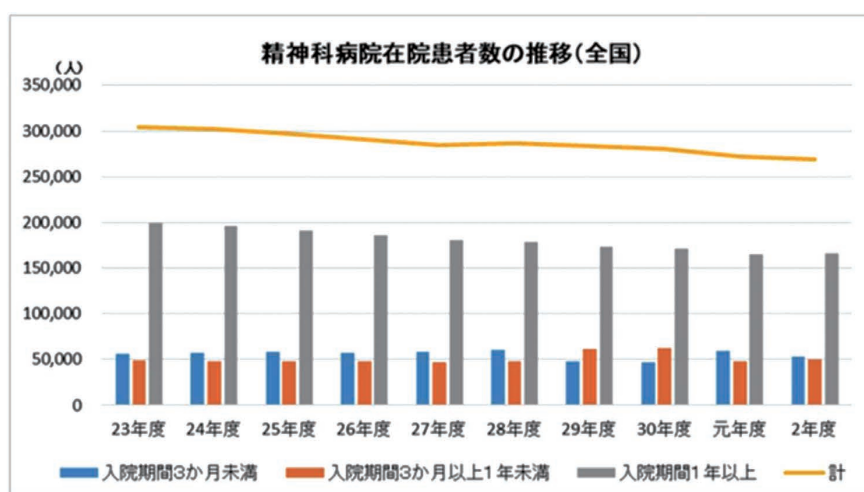
令和4年3月28日に精神疾患専門委員会を開催し、主な協議内容は、次のとおりである。

(1) 中間見直し後の広島県の精神医療を取り巻く状況

精神医療の受療状況、精神科病院及び精神科を標榜する診療所数、精神疾患の患者数、日常生活における悩みやストレスのある人の割合、精神保健福祉センターにおける相談の状況、保健所・市町における相談の状況について協議した。精神科病院在院患者数の推移に関して、「入院期間1年以上の患者数の減少は、全国と比べると少ないのではないか」、「関連してクロザピンの使用状況等を調査し、長期入院患者数の減少を推進していくべきではないか」などの意見があった。

(2) 依存症

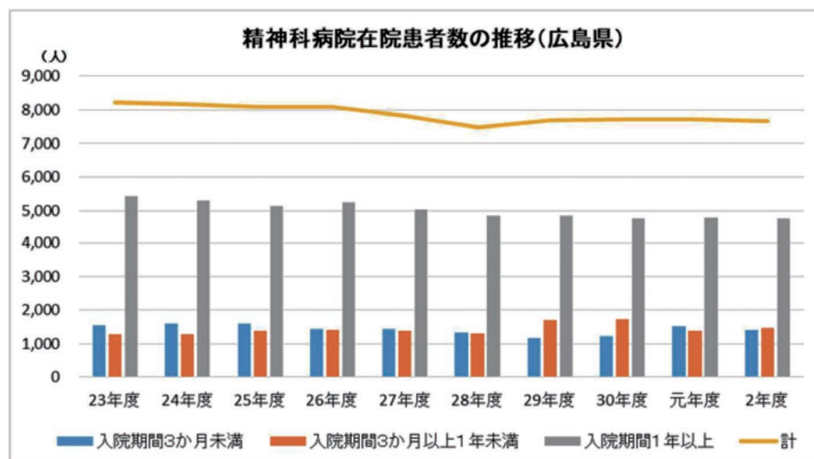
依存症（アルコール、薬物、ギャンブル等）に関する診療と相談の現状と課題について協議した。



全国

(単位:人)

区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
入院期間3か月未満	56,324	57,342	58,192	56,627	57,992	60,038	48,011	46,826	58,997	53,078
入院期間3か月以上1年未満	48,257	47,732	47,363	47,104	46,092	47,281	61,104	61,645	47,120	49,273
入院期間1年以上	199,813	197,082	191,881	186,675	180,722	179,087	174,292	171,620	165,968	167,122
計	304,394	302,156	297,436	290,406	284,806	286,406	283,407	280,091	272,085	269,473



広島県 (単位:人)

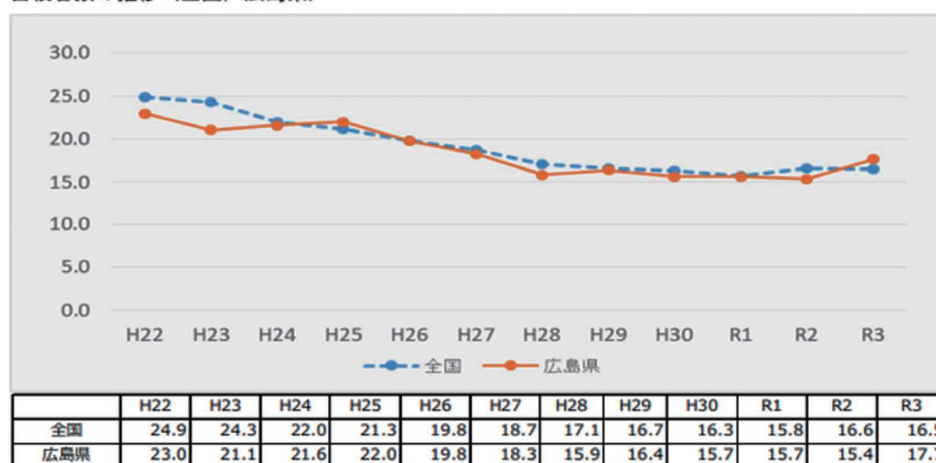
区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
入院期間3か月未満	1,537	1,585	1,588	1,437	1,435	1,331	1,158	1,217	1,525	1,414
入院期間3か月以上1年未満	1,269	1,283	1,374	1,414	1,371	1,301	1,689	1,737	1,387	1,474
入院期間1年以上	5,416	5,294	5,142	5,232	5,027	4,847	4,843	4,769	4,799	4,775
計	8,222	8,162	8,104	8,083	7,833	7,479	7,690	7,723	7,711	7,663

※精神科病院在院患者数、各年度6月30日現在、広島市を含む

※H29年度～、病院の所在地での患者数

※30年度：入院期間等不明97名を除く

自殺者数の推移(全国、広島県)



出典：警察庁自殺統計(発見日・発見地)

ギャンブル等依存症に関して、相談拠点(精神保健福祉センター)への相談件数が増加傾向にあるが、受診につながっていない可能性があるため、依存症ワーキンググループを設置し、次年度以降、具体的な検討を行うことを決定した。なお、依存症ワーキンググループの会議開催は、令和4年度から行うこととした。

(3) 自殺対策

減少傾向で推移していた広島県の自殺死亡率(警察庁統計、暫定値)が、令和3年に増加に転じている状況等を共有した。

Ⅲ. 次年度の検討事項について

令和2年度の協議結果を踏まえ、来年度の本委員

会において次の取組みを行う。

- ・広島県自殺対策推進計画(第3次)の策定に向けた検討
- ・依存症ワーキンググループにおいて、実態把握(アンケート調査)と課題の分析・検討

Ⅳ. ま と め

精神科医療提供体制の整備にあたっては、各地域の地域性と医療リソースを考慮した上で、医療機関の役割分担の整理が重要である。自殺死亡率の増加や依存症医療提供体制等の喫緊の課題に対して取り組むとともに、引き続き令和5年度の第8次保健医療計画策定を見据えて本委員会で協議していく。

広島県地域保健対策協議会 精神疾患専門委員会

委員長	岡本 泰昌	広島大学大学院医系科学研究科精神神経医科学
委員	天野 純子	広島県医師会
	岡田 剛	広島大学大学院医系科学研究科精神神経医科学
	高畑 紳一	全国自治体病院協議会
	佐伯真由美	広島県立総合精神保健福祉センター
	高見 浩	広島県精神科病院協会
	西丸 幸治	広島県健康福祉局疾病対策課
	町野 彰彦	国立精神医療施設長協議会
	松田 文雄	松田病院
	皆川 英明	広島市精神保健福祉センター
	村戸 秀年	広島市健康福祉局障害福祉部精神保健福祉課
	森岡 壯充	広島県精神神経科診療所協会
	和田 健	日本総合病院精神医学会